

お知らせ

No.2021-22

2021 年 8 月

INFORMATION

病体生理研究所

検査内容変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記項目において検査内容の変更の御案内をさせていただきます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【変更項目】

- ◆ T₄ (総サイロキシン) [10054] …検査案内 P.37 検査実施施設 S
- ◆ T₃ (トリヨードサイロニン) [10238] …検査案内 P.37 検査実施施設 S
- ◆ 抗ミューラー管ホルモン [17463] …検査案内 P.42 検査実施施設 S
- ◆ 肺サーファクタントプロテイン D (SP-D) [14920] …検査案内 P.45 検査実施施設 S

詳細裏面参照

《変更日》 2021 年 9 月 2 日 (木) 受付分より

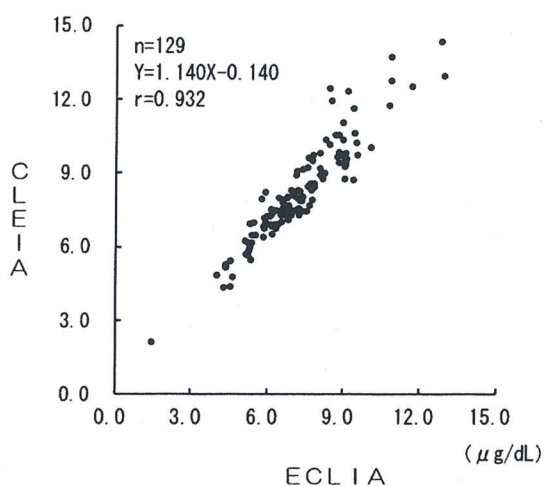
【変更内容】

検査項目 〔コード〕 検査案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
T₄ (総サイロキシン) [10054] P.37 S	検査方法	CLEIA	ECLIA	検査実施先 にて検査方 法変更のため 縦長シール 報告書の収 載項目とな ります。 検査台紙に つきまして は順次差し 替えをお願い します。
	基準値	4.53～8.38 μg/dL	6.10～12.40 μg/dL	
	報告範囲	0.50 未満 0.50～99900000	0.42 未満 0.42～24.8 以上	
	備考	1 年間、基準値変 更コメント『O オ-』 を付記致します		
T₃ (トリヨードサイロニン) [10238] P.37 S	検査方法	CLEIA	ECLIA	
	基準値	0.62～1.16 ng/mL	0.80～1.60 ng/mL	
	報告範囲	0.20 未満 0.20～99900000	0.20 未満 0.20～6.50 以上	
	備考	1 年間、基準値変 更コメント『O オ-』 を付記致します		

【新法と従来法の相関】

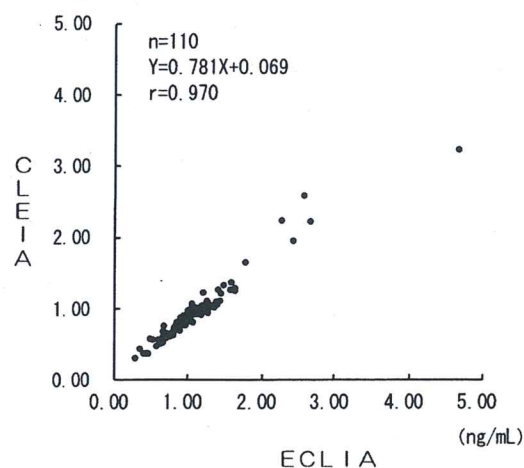
T₄ (総サイロキシン)

(μg/dL)



T₃ (トリヨードサイロニン)

(ng/mL)

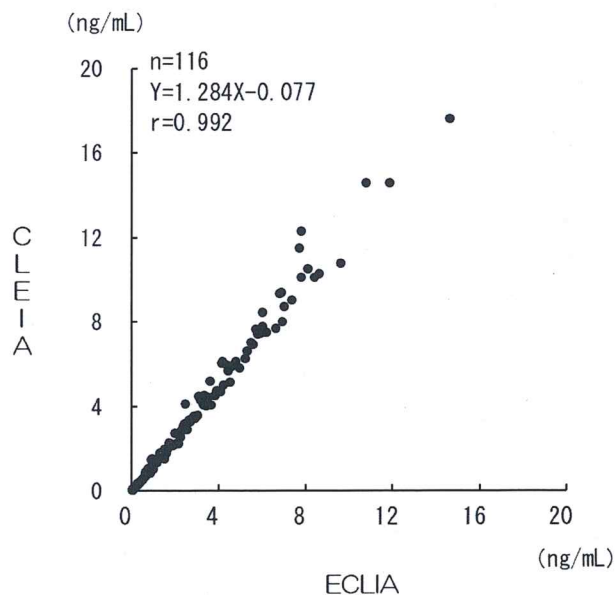


T3 参考文献：池田斉：臨床検査 38 (11)：102～103, 1994. (臨床的意義参考文献)

T4 参考文献：女屋敏正：臨床検査 38 (11)：99～101, 1994. (臨床的意義参考文献)

検査項目 〔コード〕	検査案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
抗ミューラー管ホルモン (AMH) 〔17463〕	P.42 S	検査方法	CLEIA	ECLIA	検査実施先 にて検査方 法変更のた め
		保存 安定性	冷蔵 (21日)	冷蔵 (28日)	
		基準値	下記参照	検査案内参照	
		報告範囲	0.03未満 0.03～99900000		

【新法と従来法の相関】



抗ミューラー管ホルモン基準値

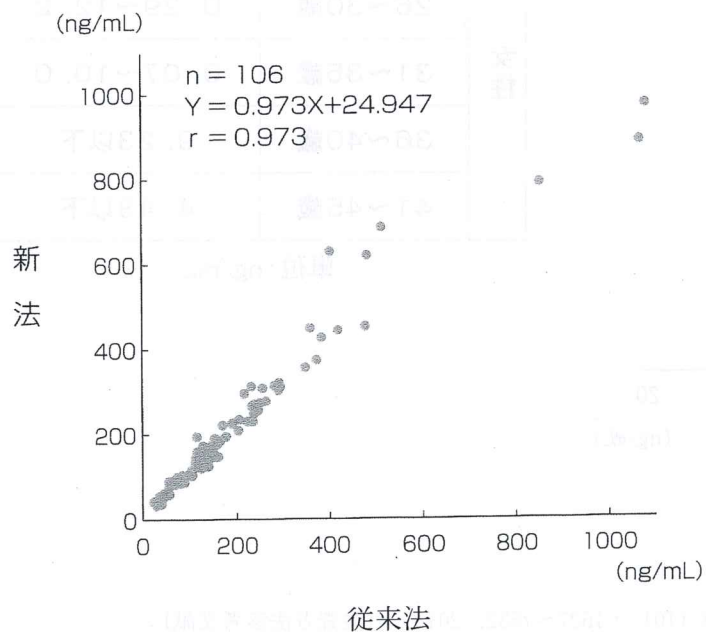
女性	22～25歳	0.28～8.01
	26～30歳	0.29～12.2
	31～35歳	0.07～10.0
	36～40歳	9.23以下
	41～45歳	4.48以下

単位: ng/mL

参考文献：浅田 義正，他：医学と薬学 76 (10)：1527～1532，2019. (検査方法参考文献)
浅田 義正：臨床婦人科産科 66 (7)：526～531，2012. (臨床的意義参考文献)

検査項目 [コード] 検査案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
肺サーファクタント プロテイン D (SP-D) [14920] P.45 S	検査方法	CLEIA	EIA	全自動測定 機器へ搭載 可能な試薬 への変更 基準値及び 単位 (ng/mL) の変更はあ りません
	検体量	血清 0.5mL 冷蔵	血清 0.3mL 冷蔵	
	報告範囲	15.0 未満 15.0~99900000	17.2 以下 17.3~99900000	
	備考	1 年間、基準値変 更コメント『O 〆』 を付記致します		

【新法と従来法の相関】



参考文献：土居耕介、他：医学と薬学 78 (3) : 261~267, 2021. (検査方法参考)

以上